

平成30年度 旭市水道事業会計決算の概要

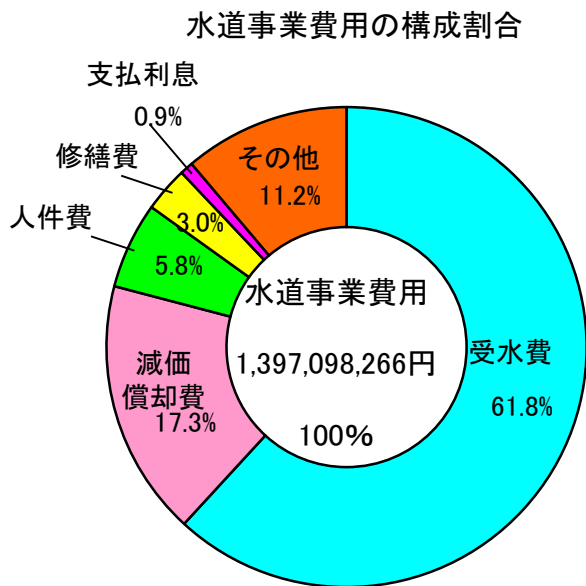
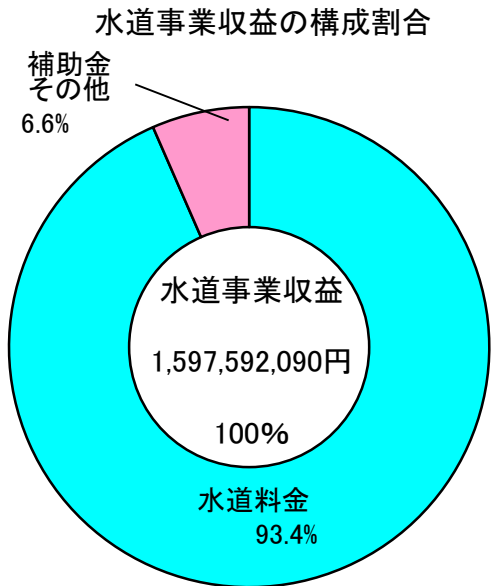
※金額は、消費税及び地方消費税を含む。

1. 決算の内訳

《収益的収支》

収益的収支とは、水道施設の運転・管理など、事業を運営するための収支のことです。

具体的には、収入は主に水道料金で、支出は受水費（東総広域水道企業団から水道水を購入する費用）、減価償却費、人件費、修繕費などです。



(単位:円)

	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
水道事業収益	1,631,073,000	1,597,592,090	△ 33,480,910
営業収益	1,539,323,000	1,498,837,392	△ 40,485,608
(うち水道料金)	(1,525,075,000)	(1,492,837,672)	(△ 32,237,328)
営業外収益	91,750,000	98,754,698	7,004,698
水道事業費用	1,485,900,000	1,397,098,266	△ 88,801,734
営業費用	1,430,463,000	1,356,555,236	△ 73,907,764
(うち受水費)	(868,151,000)	(863,806,085)	(△ 4,344,915)
営業外費用	40,432,000	39,782,443	△ 649,557
特別損失	968,000	760,587	△ 207,413
予備費	14,037,000		

平成30年度の消費税差引後の純利益は、192,500,185円になりました。

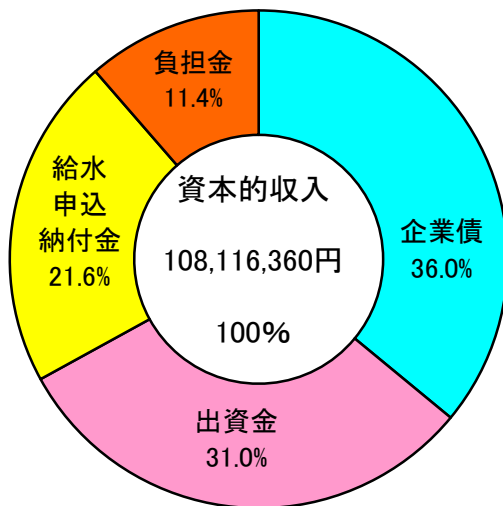
※特別損失とは、不納欠損処理額などです。

《資本的収支》

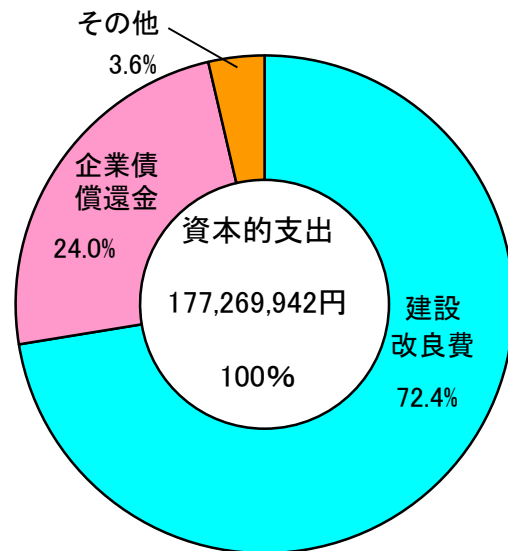
資本的収支とは、水道施設を建設・整備するための収支のことです。

具体的には、収入は企業債(借入金)、出資金、負担金、給水申込納付金などで、支出は主に建設改良費(干潟配水場塩素滅菌設備更新工事や水道管の布設工事など)、企業債償還金(借入金の返済)です。

資本的収入の構成割合



資本的支出の構成割合



(単位:円)

	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
資本的収入	138,825,000	108,116,360	△ 30,708,640
企業債	32,800,000	38,900,000	6,100,000
出資金	46,700,000	33,540,000	△ 13,160,000
補助金		0	0
負担金	29,014,000	12,306,240	△ 16,707,760
給水申込納付金	30,311,000	23,370,120	△ 6,940,880
資本的支出	335,985,235	177,269,942	△ 158,715,293
建設改良費	273,295,235	128,385,875	△ 144,909,360
企業債償還金	42,443,000	42,442,662	△ 338
その他	6,442,000	6,441,405	△ 595
予備費	13,805,000		

資本的収入額(平成29年度同意済企業債のうち当年度に借入れた 25,400,000円を除く)が資本的支出額に不足する額 94,553,582円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 7,896,560円、減債積立金 42,404,260円、過年度分損益勘定留保資金 44,252,762円で補てんしました。

※消費税及び地方消費税資本的収支調整額とは…資本的支出に係る消費税・地方消費税から資本的収入に係る消費税・地方消費税を差し引き、内部に留保されている資金です。

※減債積立金とは…企業債の償還に充てるための積立金です。

※損益勘定留保資金とは…減価償却費など、費用として計上されていますが、実際には現金支出を伴わないため、内部に留保されている資金です。

2. 業務量

項目	業務量
給水人口	57,392人
給水件数	20,572件
年間給水量	6,047,419立方メートル
年間有収水量	5,677,913立方メートル
有収率	93.9%
1日平均給水量	16,568立方メートル
主な建設改良事業	干潟配水場塩素滅菌設備更新工事 海上配水池耐震補強工事 (平成29年度事故繰越事業) 三川地区配水管布設工事 横根地区配水管布設替工事 事業費 計 87,992千円